

# 令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	名古屋フィルハーモニー交響楽団

内容	
<p>&lt;小学生プログラム…低学年・高学年で分け 45分×2公演を実施&gt;</p>	
1. 派遣メンバーの自己紹介とミニ・コンサート、オーケストラ講座	(20')
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1人の独奏→全員合奏</li> <li>・オーケストラで使われている楽器の特徴、歴史、成り立ちについての説明</li> <li>・オーケストラを構成する弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器セクションごとに、「名フィルのなかまたち」の図を用いて説明</li> </ul>	
2. 共演曲の指導(合唱, その他)	(15')
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ごとの希望曲を、ピアノ伴奏などにあわせて練習する</li> <li>※ピアノ伴奏の手伝いを学校の先生に依頼する可能性あり</li> </ul>	
3. 《トルコ行進曲》のボディ・パーカッション指導	(5')
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実演(または音源)と一緒に、身体を動かして本公演の練習を行う</li> </ul>	
4. オーケストラ・プレイヤーへの質問等	(5')
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの希望に応じて実施</li> </ul>	
★ワークショップと同時進行で、同行スタッフは担当の先生と打合せを実施	
<p>&lt;中学生プログラム&gt;</p>	
1. 派遣メンバーの自己紹介とミニ・コンサート、オーケストラ講座	(25')
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1人の独奏→全員合奏</li> <li>(各楽器の特徴がたつぷりと味わえるよう、“聴き応え”を意識した楽器紹介曲を演奏)</li> <li>・オーケストラで使われている楽器の特徴、歴史、成り立ちについての説明</li> <li>・オーケストラを構成する弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器セクションごとに、「名フィルのなかまたち」の図を用いて説明</li> </ul>	
2. 本公演のプログラムについて説明	(10')
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に一番メインのプログラムについては、音源を使って聴きどころなど、注目、必聴ポイントを説明する</li> </ul>	
3. 共演曲の指導(合唱, その他)	(5')
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ごとの希望曲を、ピアノ伴奏などにあわせて練習する</li> <li>※ピアノ伴奏の手伝いを学校の先生に依頼する可能性あり</li> </ul>	
4. オーケストラ・プレイヤーへの質問コーナー等	(5')
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校への希望に応じて実施</li> </ul>	
<p>—————以上は学校生徒が対象・・・以下は該当の生徒のみ—————</p>	
5. 共演曲の指導(楽器合奏等)	(45')
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者(吹奏楽等)のみ会場に残ってもらい、本公演でオーケストラと合わせるポイント等を説明</li> <li>※学校側の要望により、共演曲が全校生徒を対象とする場合は、1～3の中に共演曲の指導を組み込んで実施</li> </ul>	
★ワークショップと同時進行で、同行スタッフは担当の先生と打合せを実施	
※時間配分は、学校の要望により変動する可能性あり	MC・転換を含む総時間 (90')

タイムスケジュール（標準）	
09:00～09:30	出演者・スタッフ会場入り → 楽器セッティング・準備
09:30～11:00	ワークショップ(同時進行で本公演に向けての打ち合わせを実施)
11:00～11:30	撤収(午後にもワークショップがある場合は次の学校へ移動)
※状況に応じ変動する可能性があります	

派遣者数		
演奏者：2～5名	スタッフ1名	合計：3～6名

学校における事前指導
<p><b>1. ボディ・パーカッション《トルコ行進曲》の指導</b></p> <p>ワークショップまでに振り付けを覚える必要はありません。「音楽を聴いて、身体に染み込ませる」こと、「リズムに乗って、楽しく身体を叩くことができる」ことを目標とし、授業等で指導を行ってください。</p> <p><b>2. 共演曲(合唱・器楽合奏等)の指導</b></p> <p>合唱に関しましては、授業等でぜひお取り上げいただき、継続的に歌う習慣付けをお願いします。吹奏楽においては「オーケストラと一緒に演奏する場合、何に気を付けるべきか?」、「吹奏楽には無い弦楽器の響きはどのようなものなのか?」などを話し合い、意識を高めながら通常の部活動を実施してください。</p> <p>どちらも本公演でオーケストラと一緒に演奏する喜びと楽しみを知ってもらうことが目的であるため、子供たちの個性が活かされるよう、「のびのびと自由な演奏」を意識しながら、ご指導をお願いします。</p> <p><b>3. 本公演の予習</b></p> <p>本公演で演奏する曲目について、いくつかの音源を用意しています。給食時間や放課後に音源 CD を流すなど、事前にお聴きいただくことでより理解が高まり、本公演時にオーケストラの音楽に素早く馴染めるはずです。</p> <p><b>4. その他</b></p> <p>事前指導ではありませんが、プロの演奏家たちが学校を訪問する貴重な機会です。日頃の部活・授業における楽器の練習方法や、音楽に関する疑問、音楽室にある楽器のメンテナンスなど、児童・生徒の皆さんのみならず、先生方もこの機会にぜひ質問を投げかけてください。</p>

# 令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## 本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	名古屋フィルハーモニー交響楽団

演目	
【華やかなクラシック音楽で演奏会へご案内！】	
1. ビゼー：歌劇『カルメン』組曲より「闘牛士」	(3')
【オーケストラの楽器を個別にご紹介！】	
2. 楽器紹介コーナー	(15')
【共演にチャレンジ！合唱・伝統】	
3. 合唱や伝統芸能との共演	(3~4')
例)杉本竜一/Believe,村井邦彦/翼をくださいなどの合唱曲のほか、 地域に伝わる舞踊や民謡など、伝統芸能との共演も可能 ※共演曲の曲目は、学校のリクエストに応じて決定	
【共演にチャレンジ！先生がかじ屋にチャレンジ！】	
4. Jos.シュトラウス：かじ屋のポルカ	(3')
【お洒落なワルツを聴いてみよう！】	
5. アンダーソン：舞踏会の美女	(3')
《休憩》	(10')
【映画音楽をオーケストラで体感しよう！】	
6. バデルト：映画『パイレーツ・オブ・カリビアン』	(7')
<小学生対象>	<中学生対象>
【共演にチャレンジ！ボディ・パーカッション】	【共演にチャレンジ！吹奏楽】
7a. モーツァルト：トルコ行進曲	7b. 吹奏楽との共演
※ワークショップを実施しない場合は、少しレクチャー を行ってから開始します。	例)エルガー/威風堂々などクラシックの名曲のほか、 吹奏楽曲での共演も可能 ※共演曲の曲目は、学校のリクエストに応じて決定
(3~4')	
【指揮者にチャレンジ！指揮者体験】	
8. ブラームス：ハンガリー舞曲第5番	(12')
【宇宙を描いた壮大な作品に挑戦！】	
9. ホルスト [山本直人編]：組曲『惑星』より「木星」	(8')
【サプライズ・アンコール！オーケストラと校歌を歌ってみよう】	
10. 青谷良明編曲：各校校歌	(3')
公演時間(休憩・MC 含め約 90分)	

派遣者数	
指揮者:	1名
司会者:	1名
オーケストラ:	67名
	内 訳 弦楽器/12型(1stVn12-2ndVn10-Va8-Vc7-Cb5)…42名
	管・打楽器/F13-Ob2-Cl2-Fg2, Hr4-Tp3-Tb3-Tub1, Perc4, Hp1…25名
スタッフ:	6名
合計:	75名

タイムスケジュール（標準）			
09:00～11:00	舞台スタッフ会場入り → 楽器搬入・セッティング	13:30～15:00	公演
10:30～11:30	出演者会場入り	15:00～15:30	出演者撤収
12:00～12:30	ゲネプロ(直前練習)	15:30～16:30	舞台スタッフ会場撤収
12:30～13:30	昼食休憩		※開演時間により変動します

実施校への協力依頼人員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童・生徒、保護者用の座席(パイプ椅子、ベンチシート等)を使用する場合、また床面保護のためシートによる養生等が必要な場合は、楽器搬入の前に設置をお願いします。</li> <li>・ プログラム中の《かじ屋のポルカ》において、学校の先生1名に「かじ屋」役でご登場いただき、ソリストとさせていただきますので、ご協力をお願いします(詳細はワークショップ時に説明します※ワークショップを実施しない場合は事前に資料を送付しご説明をいたします)。</li> <li>・ 中学校…当日のゲネプロ(直前練習)において、《吹奏楽部との共演》で共演する生徒と、顧問の先生に立ち会いをお願いします。</li> </ul>

演目解説
<p>■ビゼー：歌劇『カルメン』組曲より「闘牛士」</p> <p>フランスの作曲家、ビゼーの代表作『カルメン』の中から、華々しく奏でられ演奏会の幕開けにふさわしい「闘牛士」でスタートです！</p> <p>どこかで聴いたことのある音楽は児童・生徒の皆さんをオーケストラの世界へ一気に惹きつけます。</p>
<p>■楽器紹介コーナー</p> <p>オーケストラを構成する各楽器を、弦楽器→木管楽器→金管楽器→打楽器の順番で紹介いたします。それぞれの楽器と奏者の個性、そして特徴がよく分かるメロディーに、どうぞご期待ください。</p>
<p>■合唱や伝統芸能との共演</p> <p>どの学校でも、音楽の授業をはじめ様々なシーンで合唱曲が歌われています。そんな愛唱されている合唱曲を、ピアノ伴奏ではなく、豪華オーケストラ伴奏と一緒に歌いましょう。地域に伝わる舞踊や民謡との共演も可能です！</p>
<p>■ヨーゼフ・シュトラウス：かじ屋のポルカ作品 269</p> <p>シュトラウス・ファミリーの次男坊＝ヨーゼフ・シュトラウスの愉快的なポルカは、特徴的な打楽器「金床」が活躍します。今回は代表の先生に「かじ屋」になっていただき、金床を叩いてもらいます！</p>
<p>■アンダーソン：舞踏会の美女</p> <p>演奏が始まった瞬間、舞踏会でワルツを踊っている様子を想像させるかのようなポップでユーモア溢れるアンダーソンの作品です。華やかでキラキラした音楽に聴いている皆さんの身体が自然に動いてくるかも！</p>
<p>■バデルト：映画『パイレーツ・オブ・カリビアン』</p> <p>クラシック音楽だけでなく、映画音楽もお楽しみ頂きます。勇壮でダイナミックな音楽は、「パイレーツ・オブ・カリビアン」の魅力を存分に引き出しています。オーケストラで聴く圧倒的な迫力と臨場感は別格です！</p>
<p>■＜小学生対象＞ モーツァルト：トルコ行進曲(ピアノソナタ第11番より第3楽章)</p> <p>「神童」モーツァルトによる超有名作品。ピアノのために作曲されたものですが、オーケストラ版でモーツァルトの個性溢れる明るく軽快な音楽にそって、子供たちの身体そのものを楽器とした「ボディ・パーカッション」を実施します。</p>
<p>■＜中学生対象＞ 吹奏楽部との共演</p> <p>吹奏楽部で普段から管・打楽器を演奏している生徒にとって、この体育館での演奏会はまた特別な時間となるでしょう。プロの奏者たちと並んで、オーケストラの名曲と一緒に演奏できるチャンスです！</p>
<p>■ブラームス：ハンガリー舞曲第5番</p> <p>ジプシー(ロマ)に伝わる音楽を、全21曲の曲集にまとめた大作曲家ブラームス。その中から、小気味良いリズムと変わるテンポで有名な「第5番」を使って、児童・生徒の皆さんにオーケストラの指揮者を体験していただきます。</p>
<p>■ホルスト[山本直人編曲]：組曲『惑星』作品32より「木星」</p> <p>“ジュピター”のタイトルでもおなじみの一曲です。巨大編成により学校公演での演奏が難しかった作品ですが、その魅力・迫力を損なわず、体育館でも演奏できるように、独自に編曲した版を使用します。</p>

## ■青谷良明編曲：各校校歌

アンコールに用意しているのは、その学校に通う児童・生徒なら誰もが歌える「校歌」です。前奏を聴いて「おおっ」となることは間違い無し、通常歌っているピアノ伴奏とはひと味もふた味も違う、ゴージャスな管弦楽伴奏版です！

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

### 1. 全員を対象とした共演

《合唱との共演》・《各校校歌》での合唱、《トルコ行進曲》でのボディ・パーカッションは、児童・生徒全員を対象に実施します。全員合唱では普段から歌い慣れている合唱曲や校歌が、オーケストラの伴奏によって劇的に変化する様子を体験し、歌う喜びを体感していただきます。

また《トルコ行進曲》では、オーケストラに合わせて身体を叩くことで一体感を感じていただき、音楽の醍醐味であるアンサンブルの楽しさを味わっていただきます。

さらに《かじ屋のポルカ》では、先生をかじ屋に見立て、音楽に合わせて金床を叩くさまを、全員で応援していただきたいと考えています。

※合唱との共演は、学校の希望により、地域に伝わる伝統芸能などとの共演も実施いたします。

### 2. 代表者との共演

《ハンガリー舞曲第5番》での指揮者体験は、3名程度を対象に、当日指揮者・司会者がランダムに選択するか、あるいは学校側の推薦を受けて決定します。

《吹奏楽部との共演》では、学校の希望に応じて吹奏楽部とオーケストラが共演します。70名弱のオーケストラと共演した生徒たちは、夢の実現に等しい体験が可能となるでしょう。

※《吹奏楽部との共演》では、ワークショップにおいて事前指導を実施します

ワークショップが実施できない場合は、ゲネプロ(直前練習)の際に指導いたします

※曲目は普段学校で演奏している楽曲を編曲し、共演します

いずれの共演企画も、児童・生徒の代表、または児童・生徒自身が実際にオーケストラと一体となって共演することで、オーケストラは決して遠い存在ではなく、身近な存在であることを認識してもらい、オーケストラに、ひいては音楽に、もっと興味を持ってもらうことを目的として実施します。

## 児童生徒とのふれあい

《吹奏楽部との共演》で吹奏楽と共演する学校であれば、ゲネプロ(直前練習)後の昼食休憩時間に楽員が様々な質問を受け付けるので、気軽に声をかけてください。また「お昼の校内放送」に指揮者等が出演し、本公演への期待を高めるなど、各学校の希望を踏まえて実施します。